

都市部と地方部をつなぐ
「ふるさとワーキング
ホリデー」制度

只見町は「ふるさとワーキングホリデー」制度の実施団体に登録されています。この制度は、主に都市部の学生や社会人が、一定期間、地域に滞在し、働いて収入を得ながら、その地域の自然や文化を体験するため、交流人口の拡大、移住のきっかけづくりを目的としています。

町内において、8月末頃から、徐々に活用者が訪れ、町内で仕事をしたり、地元民と交流を行ってまいります。見かけた際には、温かく迎えてください。



▲自然豊かな場所での生活を体験したいと訪れた森さん(写真左)

元ユネスコ生態地球科学部長
ミゲル氏来町
海外交流特別セミナー開催

セミナー「ユネスコエコパークとユネスコMAB計画・持続可能な開発と自然保護との関連性」が9月7日に朝日公民館で開催されました。講師は、ミゲル・クリュスナー・ゴッド氏(元ユネスコ生態地球科学部長、元ユネスコMAB計画事務局長)が務めました。

セミナーでは、ユネスコが目指すもの、ユネスコエコパークに登録する理由などを世界各国のユネスコエコパークの活動を交えながら紹介しました。



▲講師のミゲル氏(右)と逐次通訳を務めた松田裕之博士(横浜国立大学)

生の演劇に触れ、感性を育てる
家庭劇場「角くいじめ
つこ姫の物語」開演

「劇団芸優座」による「角くいじめつこ姫の物語」が9月18日に朝日小学校体育館で開かれ、町内保育所園児や小学校児童が鑑賞しました。

今回のストーリーは、わがままで意地悪なお姫様が、生活環境の変化や、出会いなどを通して、誰かのためを考えられるように成長していく物語です。

鑑賞した児童たちは、「意地悪などの悪いことも自分に返ってくるから、気を付けたいです」と感想を話しました。



▲この事業には、「自然首都・只見」応援基金(皆様からいただいた寄附)を活用しています

たにぞう氏による子育て講演会
『たにぞうの「楽しい
子育てのコツ」』開催

「バスにのって」や「パンバ・ボーン」の作詞・振付の他、「只見の空」をプロデュースした「たにぞう氏」による講演会『たにぞうの「楽しい子育てのコツ」』が9月21日に只見公民館で開かれました。

第1部の講演会でたにぞう氏は「子どもに対し、質問攻めにするのではなく、子どもが自分から話したくなるような話し方をする」、「子どもの気持ちに共感する寄り添う一言が大切」と子育てのコツを伝えました。

第2部のミニ音楽会では、「只見の空」などをたにぞう氏が演奏し、曲に合わせて来場者が全員で踊ったり歌ったりしました。



▲講師を務めた「たにぞう氏」